

～弘前市の新しいまちづくりに向けて～
「弘前市のまちづくりを考えよう」
市民会議(ワークショップ)
説 明 資 料

平成 25 年7月
弘 前 市

目 次

1	市民会議開催の目的-----	1
2	グループの構成と参加メンバーの役割-----	2
3	全体スケジュール-----	3
4	市民会議の基本的な進め方-----	4
5	各回のプログラム概要-----	5
6	円滑な運営に向けた基本ルール-----	7
7	問い合わせ先-----	7

1 市民会議開催の目的

弘前市では平成 26 年度を初年度とする新たな総合計画の策定に向けた検討を行なっています。

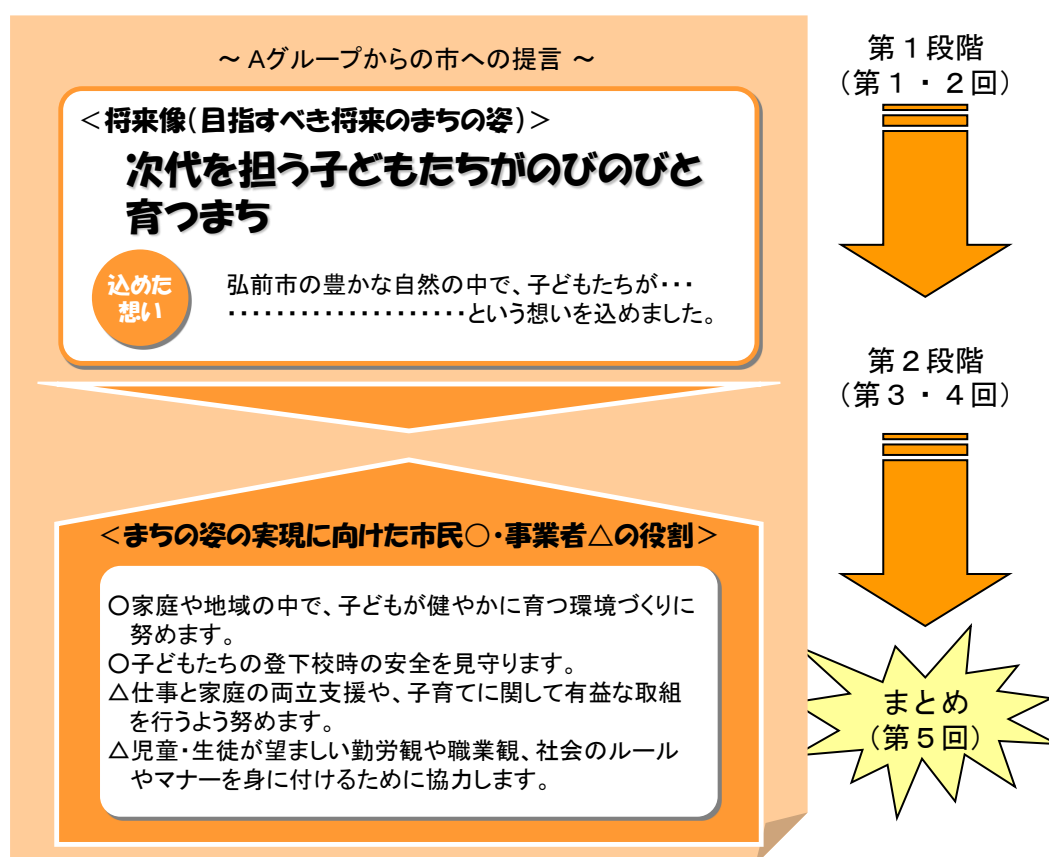
そこで、新たな総合計画を策定するにあたっての重要な基礎資料の 1 つとして活用するため、ワークショップ※の手法を取り入れ、市民の皆さんの視点から、今後 20 年先を見据えた中で、弘前市が目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）と、その実現に向け市民や事業者が果たすべき役割を検討し、その結果を「市への提言」にとりまとめ、市長へ提出していただきます。



※「ワークショップ」とは

参加メンバーが、まちづくりや計画策定という共通目標の達成に向け、課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

<「市への提言」の完成イメージ>



2 検討テーマと参加メンバーの役割

(1) 検討テーマ

参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、A～D4つのグループに分かれて検討を行います。各グループでは、以下の4つのテーマそれぞれについてご議論いただきます。

<検討テーマ等>

検討テーマ	主な論点	関連する取組内容
ひとづくり	どのような人材が求められ、育まれるまちになるべきか	若い人材の育成・獲得、地域コミュニティの強化、市民協働の推進、女性の活用、大学との連携 など
くらしづくり	どのような魅力があるまちになるべきか	まちの賑わいの創造、健康づくりの推進、歴史・伝統・文化の継承、子育て環境の充実 など
なりわいづくり	どのような仕事で生活の糧を得られるまちになるべきか	産業（農業・商業・観光）の振興、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの促進 など
まちづくり	どのような住みやすさを感じられるまちになるべきか	豊かな自然環境の保全・活用、環境負荷の少ない循環型社会の形成、災害等に対応した安全・安心な都市基盤の形成、コンパクトなまちづくり など

(2) 参加メンバーの役割

各グループは、市民の皆さんと事務局（行政経営課1～2名、コンサルタント1名）で構成します。それぞれの役割分担は以下に示すとおりです。

<参加メンバーの役割>

メンバー		役 割
市民の皆さん		○テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）の検討 ○将来都市像の実現に向けた市民や事業者の役割の検討
事務局	行政経営課	○全体会議の司会進行役 ○配布資料の作成、情報の提供 ○各グループの進行のサポート ○「市への提言」とりまとめのサポート
	コンサルタント	○各グループの検討の司会進行役 ○配布資料の作成 ○「市への提言」とりまとめのサポート

3 全体スケジュール

市民会議は計5回の開催とし、参加メンバー全員の理解と共通の認識を図りながら、段階を踏んで検討を進めていきます。

＜市民会議の全体スケジュール＞

回数	会議の開催日時	会議の目的（第1～3段階）	会議の概要
第1回	平成25年 7月20日(土) 13:30～16:00	1－1. 市民会議の趣旨や進め方及び市の現状・課題について、参加メンバー全員の共通認識を図る	☐ 市民会議の趣旨・進め方・スケジュールの説明 ☐ 話し合いによるグループ分けの決定 ☐ 現行の総合計画の概要説明 ☐ 20年後の社会経済の将来展望等について説明
		1－2. 将来のまちの姿(将来都市像)を検討する①	＜各グループ（以下同様）＞ ●メンバー自己紹介 ●テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿の検討①
第2回	8月10日(土) 13:30～15:30	2. 将来のまちの姿(将来都市像)を検討する②	●テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿の検討②
第3回	8月24日(土) 13:30～15:30	3－1. 将来のまちの姿(将来都市像)をまとめる	●テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿の検討③
		3－2. 将来のまちの姿の実現に向けた市民や事業者の役割を検討する①	●テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割の検討①
第4回	9月7日(土) 13:30～15:30	4. 将来のまちの姿(将来都市像)の実現に向けた市民や事業者の役割を検討する②	●テーマに沿った目指すべき将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割の検討②
第5回	9月28日(土) 13:30～16:00	5. 「市への提言」をとりまとめ、発表する	☐ これまでの検討結果に基づく「市への提言」の説明 ●「市への提言」の最終確認及び発表

注1) ☐は事務局からの説明、●は各グループによる検討を指します。

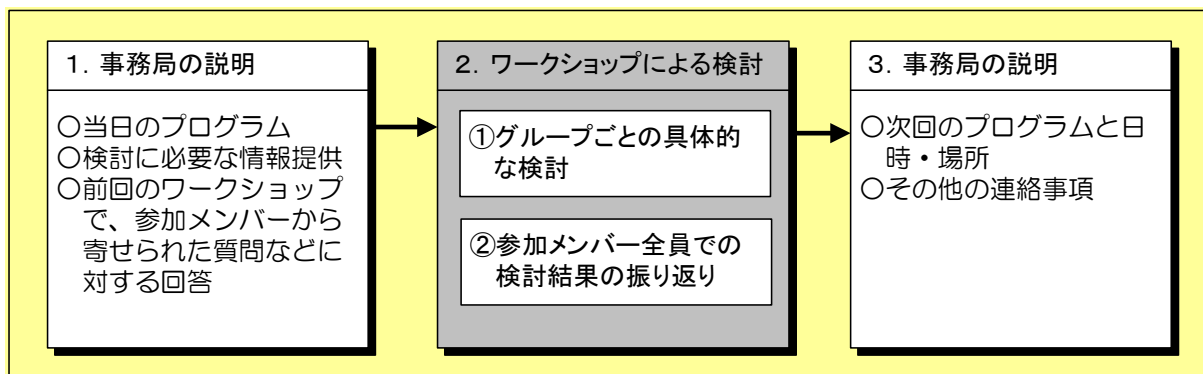
2) 第5回は市長への報告会を兼ねます。

3) 各回の受付開始時間は、開催時間の30分前になります。

4 市民会議の基本的な進め方

市民会議は、基本的に以下に示した流れに沿って進めていきます。また、会議は公開を原則としています。

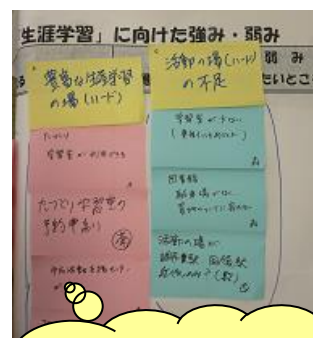
＜市民会議の基本的な進め方＞



【2. ワークショップによる検討】

①グループごとの具体的な検討

- ・参加メンバーが、検討テーマに沿ったアイデアをカード（付せん紙）に書き出します。
- ・書き出したカードは、ホワイトボードや壁に貼られた模造紙に貼っていき、必要に応じて司会進行役が発言者に内容確認や説明を求めた上、事務局が似通ったアイデアを並べ替え、グループ化するなどの整理を行います。
- ・一通りアイデアが出そろった段階で、グループのメンバー全員で意見交換を行い、追加や修正などを行います。



模造紙とカードを用いて、皆様の意見・アイデアをとりまとめます。

②参加メンバー全員での検討結果の振り返り

- ・参加メンバー全員で今回検討した成果を共有するため、ワークショップの成果を発表する時間を設けます。
- ・検討成果は、事務局が次回の会議までにプリントにとりまとめ、メンバー全員に配布します。

＜とりまとめイメージ＞

5 各回のプログラム概要

各回のプログラムの概要は、以下に示すとおりです。なお、より詳しい進め方については、各回当日に資料を別途配布し、説明します。

1-1. 市民会議の趣旨や進め方及び市の現状・課題について、参加メンバー全員の共通認識を図る

【第1回：7月20日（土）】

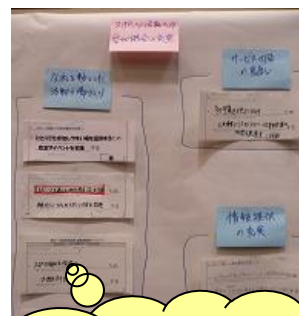
- 現行の弘前市総合計画の位置付けや計画の構成、市民会議の趣旨などについて、事務局から説明を行い、参加メンバー全員で共有します。
- 現行計画によるこれまでの取組と成果や、20年後の社会経済の将来展望等について、事務局から説明を行い、参加メンバー全員で共有します。



＜全体会議のイメージ＞

1-2. 将来のまちの姿(将来都市像)を検討する①

- 各グループに分かれ、参加メンバーの自己紹介を行います。
- テーマに沿った「目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」を考えるために、「20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと」について、各自がアイデアを発表し合います。
- 各グループの代表者が検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で共有します。



アイデアを出し合い、
類似した意見を
グループ化します。

＜アイデアの検討イメージ＞

2. 将来のまちの姿(将来都市像)を検討する②

【第2回：8月10日（土）】

- 事務局から前回の検討結果と、今回の検討内容を説明します。
- 前回の検討内容をふまえて、事前に各自がワークシート※に記入した、テーマごとの「目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」について、各自がアイデアを発表し合います。
- 各グループの代表者が検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で共有します。

※「ワークシート」とは

円滑に討議を進めるため、事前に各メンバーに記入をお願いするために配布するシートです。

注) □は事務局からの説明、●は各グループによる検討を指します。

3. 将来のまちの姿(将来都市像)をまとめる、将来のまちの姿の実現に向けた市民や事業者の役割を検討する①

【第3回：8月24日（土）】

□事務局から前回の検討結果と、今回の検討テーマを説明します。

- テーマに沿った「目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」について、グループのメンバー全員で最終的な確認を行います。
- 事前に各自がワークシートに記入した、テーマに沿った「将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割」について、各自がアイデアを発表し合います。
- 各グループの代表者が検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で共有します。

4. 将来のまちの姿の実現に向けた市民や事業者の役割を検討する②

【第4回：9月7日（土）】

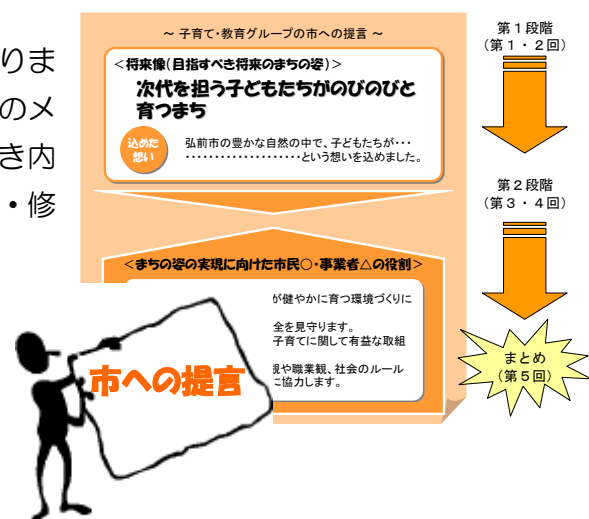
□事務局から前回の検討結果と、今回の検討テーマを説明します。

- 事前に各自がワークシートに記入した、テーマに沿った「将来のまちの姿の実現に向けて、市民や事業者が担うべき役割」について、各自がアイデアを発表し合います。
- 各グループの代表者が検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で共有します。
- 次回の市長への報告会で「市への提言」を発表する人を選出します。

5. 市への提言をとりまとめ、発表する

【第5回：9月28日（土）】

- これまでの検討結果に基づき、事務局がとりまとめた「市への提言」について、グループのメンバー全員で修正すべき内容や追加すべき内容の有無を最終確認し、必要に応じて加筆・修正を行います。
- 市長へ「市への提言」を発表します。



注) □は事務局からの説明、●は各グループによる検討を指します。

6 円滑な運営に向けた基本ルール

参加メンバーの活発な議論を促し、より実りの多い会議とするための基本ルールを、次のように定めます。これらのルールを守っていただき、有意義な議論を進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

*** 円滑な運営に向けた会議のルール ***

- ①メンバー全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- ②各メンバーの発言を尊重し、はじめから否定することのないよう配慮しましょう。
また、メンバーの話しを遮るような発言は慎み、円滑な会議進行に努めましょう。
- ③限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- ④特定の個人や団体などのひぼう中傷につながる発言はやめましょう。
- ⑤全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- ⑥意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。
- ⑦いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。
- ⑧会議の内容の取扱いについては、十分に注意しましょう。（ブログへの不適切な書き込みなど）
- ⑨個人情報、保護の重要性を十分認識し、メンバーの利益を害することのないよう努めましょう。

7 問い合わせ先

やむを得ず市民会議を欠席・遅刻する場合は、できるだけ早めに以下の連絡先までご連絡ください。欠席された回の配布資料は、次の市民会議に出席された際にお渡しします。

弘前市 経営戦略部 行政経営課（担当：岩崎、土岐、藤田）
〒036-8551 弘前市大字上白銀町1の1（市役所本館3階）
電話：0172-35-1123 FAX：0172-35-7956
Eメール：gyoseikeiei@city.hirosaki.lg.jp

第1回「弘前市のまちづくりを考えよう」 市民会議(ワークショップ)の進め方

1 第1回ワークショップの目的

- ◆ワークショップの目的や進め方について、参加メンバー全員の共通認識を図る。
- ◆20年間という時間の持つ意味について、参加メンバー全員で認識を深める。
- ◆検討テーマごとに弘前市の将来課題等を洗い出す。

2 本日のプログラム

タイムテーブル (予定)	内 容	備考
13時30分 ～13時35分	開会 1 はじめに (1) 配布資料の確認 (2) 本日のプログラム	
13時35分 ～13時55分	2 市長あいさつ	
13時55分 ～14時25分	3 ワークショップの開催にあたって (1) 市民会議の趣旨・進め方 (2) ワークショップの進め方と基本ルール (3) 20年後の社会経済の将来展望 (4) 質疑応答	事務局からご説明します
14時25分 ～14時30分	休 憩	
14時30分 ～15時45分	<グループごとの検討> 4 メンバー自己紹介 5 ワークショップによる検討 (1) 「20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと」の洗い出し (2) 出された意見のとりまとめ	グループごとに適宜、休憩をはさみます
15時45分 ～16時00分	<全体会議> 6 本日の検討結果の振返り (1) 本日の検討結果の発表(各3分以内) (2) 次回の日程とテーマの説明	発表者は各グループの話し合いで決定します
16時00分	閉会	

3 検討テーマ

参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、A～D4つのグループに分かれて検討を行います。各グループでは、以下の4つのテーマそれぞれについてご議論いただきます。

＜検討テーマ等＞

検討テーマ	主な論点	関連する取組内容
ひとづくり	どのような人材が求められ、育まれるまちになるべきか	若い人材の育成・獲得、地域コミュニティの強化、市民協働の推進、女性の活用、大学との連携 など
くらしづくり	どのような魅力があるまちになるべきか	まちの賑わいの創造、健康づくりの推進、歴史・伝統・文化の継承、子育て環境の充実 など
なりわいづくり	どのような仕事で生活の糧を得られるまちになるべきか	産業（農業・商業・観光）の振興、コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの促進 など
まちづくり	どのような住みやすさを感じられるまちになるべきか	豊かな自然環境の保全・活用、環境負荷の少ない循環型社会の形成、災害等に対応した安全・安心な都市基盤の形成、コンパクトなまちづくり など

4 第1回目のワークショップの具体的な進め方

※4つのグループに分かれて検討を行います。

1) メンバー1人ひとり自己紹介を行います

【目安の時間：15分程度（1人1分以内）】

- お名前やお住まいの地域、弘前市に対する自分なりの思いなどを発表します。



2) 自分が考える「20年後に向けて、今後弘前市が地域全体で取り組んでいくべきこと」を書き出します

【目安の時間：10分程度】

- 1枚のカードに1つずつ、自分の意見を書き出します。

＜書くときのポイント＞

- ・行政だけでなく、市民、事業者、コミュニティなどの役割も意識しながら、地域全体が協力しあって取り組むべきことについて書いて下さい。
- ・今後20年間に起こりそうな社会の変化を意識して考えてみて下さい。
- ・アイデアが思い浮かばない場合は、普段の生活の中で感じる身近な課題から考えてみて下さい。

【参考：記入例】

○ひとつづくり

- ・地域の伝統や文化を大切にする若者の心を育てる
- ・年齢を重ねても元気でいられるよう、健康づくりに積極的に取り組む

○くらしづくり

- ・ねふた祭など、まちの魅力の源泉である伝統文化を守っていく
- ・介護が必要な高齢者を地域全体で支えるネットワークをつくる

○なりわいづくり

- ・地域外貨を獲得するため、外国人観光客を積極的に呼び込む
- ・地域の身近な課題を解決するためのコミュニティビジネスを推進する

○まちづくり

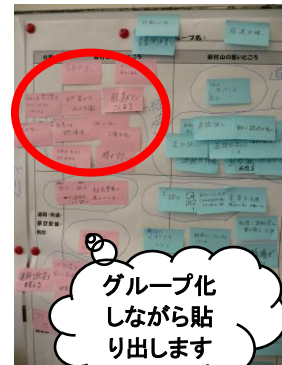
- ・美しい街並みを守るため、景観規制を強化する
- ・都市の分散化を防ぐため、街なか居住を促進する



4) 書き出した意見を発表し合います

【目安の時間：35分程度】

- 書き出したカードのうち、主な将来課題を優先して1人ずつ発表します。
- 発表するときは、なぜそう考えたのかについても簡単に説明します。
- カードは、事務局がグループ化しながら模造紙に貼り出します。



5) 発表された意見を確認し合います

【目安の時間：10分程度】

- 模造紙を見ながら、意見の分類や不足している意見を確認し、必要に応じて追加・修正を行ったうえで、グループの意見としてとりまとめます。



6) 本日の検討結果を振り返ります

【目安の時間：15分程度】

- 各グループの検討結果を報告し合い、参加メンバー全員で本日の検討結果を共有します。
- 参加メンバーは、「振り返りシート」に本日のワークショップに参加して学んだことや気付いたことなどを記入します。（※時間の都合によっては、会議終了後）

以上、本日の予定

※第2回（8月10日）では、第1回の議論をふまえ、「目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」の検討を行います。

※後日、事務局が各グループの検討結果をプリントにとりまとめ、参加メンバー全員に郵送します。

※本日の検討結果とともに、**事前に「目指すべき将来のまちの姿（将来都市像）」をご記入いただくためのワークシートを送らせていただきますので、第2回に向けた検討の準備をお願いします。**

5 円滑な運営に向けた基本ルール

参加メンバーの活発な議論を促し、より実りの多い会議とするための基本ルールを、次のように定めます。これらのルールを守っていただき、有意義な話し合いを進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

*** 円滑な運営に向けた会議の基本ルール ***

- ①メンバー全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- ②各メンバーの発言を尊重し、はじめから否定することのないよう配慮しましょう。
また、メンバーの話しを遮るような発言は慎み、円滑な会議進行に努めましょう。
- ③限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- ④特定の個人や団体などのひぼう中傷につながる発言はやめましょう。
- ⑤全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- ⑥意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。
- ⑦いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。
- ⑧会議の内容の取扱いについては、十分に注意しましょう。（ブログへの不適切な書き込みなど）
- ⑨個人情報については、保護の重要性を十分認識し、メンバーの利益を害することのないよう努めましょう。